JCFN 代表主事レター

2026 年 7～8 月

ハレルヤ！北米でも日本でも、水害や台風、山火事、そして猛暑に見舞われていますが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。世界情勢も決して穏やかではなく、心を痛める出来事が続いています。しかし、そのような時代だからこそ、主が共におられ、慰めと力をもって私たちを支えてくださることを覚え、主にある希望を持ち続けたいと願っています。今月は、清水がご報告いたします。

◎ JCFN 新年度・人事の報告◎

JCFN では、7 月から新年度が始まります。現在、2 名の主事候補である**星野優さん**と**平瀬明里さん**が、サムライプロジェクツでトレーニングを受けながら、祈りと経済的支援を募るデピュテーションを行っています。今年度中に主事として就任できるよう、お祈りください。また、6 月末をもって、協力主事として奉仕してくださった**尾上由香さん**が退任されました。これまでメンバーケアとネットワークづくりのために尽力してくださったことを、心より感謝いたします。感謝なことに、関西地区の協力主事として、**中久木明日香さん**が新たに加わってくださいました。中久木さんご夫妻は、長年にわたり関西の帰国者集会 ANRK をリードしてくださってきましたが、今年度からは協力主事として JCFN の働きに関わってくださることになりました。さらに、これまで北米でリーダーシップ担当の協力主事として奉仕してくださっていた**レディントン香さん**が、今後は主事として関わってくださることになりました。当面は主事候補としてデピュテーションを行い、その後、アメリカのインターバーシティーで 10 年間スタッフとして奉仕された経験を生かし、高知県を拠点として、ネットワークづくりとフォローアップを中心に、日本主事として奉仕する予定です。皆様のお祈りとご支援を、心よりお願いいたします。

◎ 年次理事会からの報告 ◎

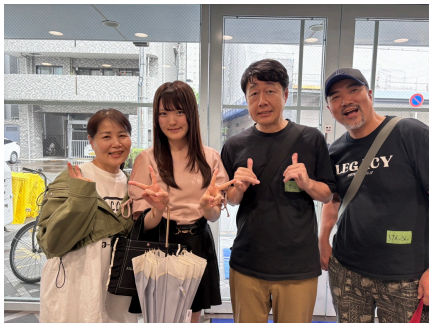
6 月 9 日から 11 日まで（イギリスと日本では 6 月 10 日から 12 日）、オンラインで JCFN の年次理事会が開催されました。時差を越えて 3 日間にわたり、変化する時代の中でのミニストリーの方向性や人事、そして JCFN という団体のあり方について話し合う、とても有意義な時間となりました。

いくつかご報告いたします。日本では、一般社団法人（非営利型）への法人化を進めています。また北米では、運営費削減のため、9 月末をもって現在のオフィスを手放し、新たなオフィススペースを借りることができないか検討を進めています。人事面では、新たなスタッフを迎える中で、今年 1 年をかけて理事が主事・協力主事に対してリーダーシップ研修を行うことになりました。また近年、ミニストリーの対象者やニーズが大きく変化していることを受け、JCFN ではここ数年、ミニストリー全体の見直しを進めています。主の御声に耳を傾けながら、これから JCFN をどのように導いてくださるのかを、理事会一同、大きな期待をもって祈っています。経済的なチャレンジは常にありますが、これまで主が必要のすべてを満たしてくださっていることを心から感謝しています。今後、スタッフが増え、ミニストリーの範囲もさらに広がっていくことを期待しています。帰国者フォロー、日本宣教、そして海外に住む日本人への宣教のために、主がこれからも JCFN を豊かに用いてくださることを信じています。どうぞ引き続き、皆様のお祈りをお願いいたします。

◎ ANRK（関西帰国者の集い）の祝福 ◎

6 月 20 日、ANRK（関西帰国者の集い）が J-House を会場に開催されました。久しぶりに私（清水）も参加することができ、帰国して数か月の方から、数年、さらに長く日本で生活されている方まで、さまざまな帰国者の方々が共に集いました。御言葉を通して、「どのような時にも共にいてくださる主に信頼すること」の素晴らしさと特権を改めて確認し合い、その後のスモールグループでの分かち合いも大きな祝福となりました。集会後は、ほとんど全員で近くのインド料理店へ移動し、貸し切りのような雰囲気の中で

ランチを囲みながら、交わりをさらに深めることができました。まだ教会が見つかっていない方々もおられますが、このような帰国者の集いを通して励まされ、新しいネットワークが与えられ、教会へとつながっていく姿を見るたびに、地域集会の大切さを改めて実感しています。



この写真は、私にとって特別な意味を持つ一枚です。
皆様には、いつも西海岸で行われている学生伝道ミニストリー「ふらいで〜」のためにお祈りいただいていますが、写真の右側にいるお二人は、33 年前に「ふらいで〜」を始めたメンバーです。右から 2 番目は J-House の飯田牧師、一番右は黒田さん（実は私の弟）で、現在はロサンゼルスでカウンセラーとして働きながらミニストリーを続けています。
そして、一番左に写っているのは、「ふらいで〜」を通して最初に救われた方です。現在は、ご夫妻で飯田牧師と共に J-House の働きを支えておられます。その隣にいる R ちゃんは、「ふらいで〜」を通して最も最近救われ、帰国してまだ 2 か月足らずの帰国者です。
33 年にわたり、「ふらいで〜」を通して続けられてきた主の御業を、この ANRK の場で目の当たりにすることができたことを、心から感謝しました。
どうぞ、R ちゃんのイエス様との歩みが守られ、良い教会との出会いが一日も早く与えられるよう、お祈りください。

◎ ISI ナショナルコンファレンスに出席して ◎

6 月 21 日から 24 日まで、アメリカの留学生伝道団体 ISI（International Students, Inc.）の 3 年に一度のナショナルコンファレンスが日本で開催され、私（清水）もセミナーのプレゼンターとして参加しました。留学生伝道に携わる方々の宣教への情熱と人を愛する姿勢に大きな励ましを受け、私自身も JCFN の働きのために多くの祈りと励ましをいただきました。また、JCFN の初期から支えてくださっている方々や EC でつながった仲間とも再会し、帰国者ミニストリーを通して主が築いてくださったネットワークの広がりを改めて感謝しました。

現在、日本には 46 万人を超える留学生と 412 万人を超える中長期在留外国人がおり、その中には福音を自由に伝えることが難しい国々から来ている方々も多くいます。海外で福音に出会った方々は、帰国後、それぞれの国や地域へキリストの使節として遣わされます。JCFN はこれからも帰国者をフォローし、それぞれの家庭や地域社会で福音を証しできるよう支えていきたいと願っています。日本で留学生伝道や外国人宣教に関心をお持ちの方は、ぜひご連絡ください。

✿JCFN のためにお祈りください✿

◎ 7 月 8 日から 11 日まで WIT リーダーシップキャンプが開催され、本当に多くの恵みを受けました。9 月号やブログで、参加者の証しをご紹介する予定です。お祈りをありがとうございました。
◎ 日本各地で行われている地域集会やスモールグループの働きが祝福され、帰国者の方々が励まされ、教会や信仰の仲間とつながることができるようお祈りください。
◎ デピュテーション中の主事候補、星野優さんと平瀬明里さんのためにお祈りください。学びと巡回の働きが祝福され、霊的に守られ、良いネットワークが広がり、必要が満たされるようお祈りください。
◎ 世界に平和と正義がもたらされるようお祈りください。イラン、イスラエルとガザ、ウクライナの人々が守られ、争いが終結するように。また、各国の指導者たちが主の御心に従い、公正と平和を優先して行動することができるよう祈りましょう。

連絡先： Japanese Christian Fellowship Network　www.jcfn.org
北米本部： P.O. Box 17982, Irvine, CA 92623-7982 USA　ushq@jcfn.org　tel 657-247-0233
日本本部： 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-1 OCC ビル内　nihon@jcfn.org　tel/fax:03-5217-2505

献金方法： ①オンライン献金： USドル http://bit.ly/GiveJCFNonlineUS　日本円 https://jcfn.org/donationJP
②アメリカ：小切手による献金：小切手の宛先はJCFNにし、上記のP.O. Boxまで送付下さい。
③日本：（郵便振替） 加入者名：JCFN 口座番号：00100-8-565348
（みずほ銀行）九段支店 店番号532　口座番号1161342
口座名：JCFN日本代表　山﨑龍一 [JCFN ニホンダイヒョウ ヤマザキリュウイチ]